

事業戦略の理解や新規事業の構想と、知財の役割の認識及びその戦略の明確化

知的財産部門で2日間のワークショップを開催

第1日

- ① 経営デザインシート（以下KDS）の理解（内閣府資料ベース）
- ② Key Questionsを使って参加者各自がKDSを作成（各自が事業でやりたいことや想いを描くように）
- ③ 作成したKDSの1つを発表・議論し、KDSの理解を深化
- ④ 事業部との対話等により、KDSをブラッシュアップ
特に、「これから」の明確化、「移行戦略」の具体化、
その上で知財の役割と戦略の明確化、を実施



作成したKDSの発表
(2回ともweb会議で開催)

第2日

- ⑤ 価値創造ストーリーを物語るように、作成したKDSを発表(全員)
発表されたKDSについて将来の価値起点での議論を実施
- ⑥ 今後のKDSの有効な使い方について意見交換

経営デザインシートを活用した感想・効果

- 事業戦略を、①聞き出したいとき、②一緒に考えたいとき、③提案したいとき、のいずれにも使える。共通認識を醸成するのに有効なツールとして活用していきたい
- 顧客協創によりお客様と共に価値から議論して実現に落とし込む過程で活用すると効力を発揮できる。お客様と共に経営デザインシートの考え方を共有していきたい
- 価値視点で事業をデザインすることができ、その視点から技術の新たな可能性を発見できる
- ありたい姿からのバックキャストやビジネスモデルを踏まえた発明創生活動に役立てたい
- 考え方が重要なので、意識していきたい（「これから」－「これまで」＝「移行戦略」等）
- 仕事にワクワク感が出てくる点もうれしい